

平和のための場所

ピース・パビリオン

追悼と思いやり、日本とハワイの友情を
未来へつなぐ場所。

来訪者の体験を豊かにする長期構想

大規模な施設整備も、長期計画の一環です。

ビジターセンター

パールハーバーを訪れる皆様に、
より温かく、学びがあり、
快適に過ごせる体験を。

シアター

歴史を次の世代に伝えるため、
上映施設を近代化。

これらは、綿密な計画と多額の資金、時間を要する長期プロジェクトです。

今、意義ある第一歩を踏み出す

ピース・パビリオンは、長期構想を今できる一歩につなぎます。

平和を願う場所

追悼と思いやり、友情を、目に見えるかたちに。

人をいたわる場所

日陰とベンチを備え、心地よくひと息つける場所。

今、着手できる事業

大規模な施設整備の計画を進める間に、先行して着手できるプロジェクト。

平和を贈る。人々を迎える。

ひとつのパビリオンに、未来へ続くふたつの役割。

01 敬意と追悼

佐々木禎子さんの折り鶴と
平和への願いに着想を得た、
静かに思いを巡らせる場所。

02 日陰と休息

パールハーバーを訪れた方が
日差しを避け、腰を下ろして
心地よく休める日陰の空間。

一羽の折り鶴から、世界共通の願いへ

過去をしのび、未来を見つめる物語。

佐々木禎子

日本で原爆の被害を受けた少女、佐々木禎子さん。彼女が折った折り鶴の物語は、今も世界で平和の象徴として語り継がれています。

パビリオンは、この平和の象徴を、思索と思いやり、希望を分かち合う場所としてかたちにします。



パールハーバーにある禎子さんの折り鶴の複製

希望を託した折り鶴が、禎子さんのご家族とのつながりに。



展示されている複製は、
禎子さんの甥、
佐々木祐滋さんが
寄贈したものです。

2026年「平和の火」消火式

パールハーバーで、追悼と和解、友情への思いを表す。



ふたつの国、ひとつの平和への願い。

追悼

日本の子どもたちを含め、戦争に苦しんだ人々をしのびます。

和解

平和な未来を築くために、公園同士の連携が生まれました。

共に築く未来

ピース・パビリオンは、折り鶴と平和のメッセージで、この思いを未来へ受け継ぎます。

平和と友情をたたえるパビリオンの提案です。設計と協賛者表記には承認が必要です。

A案 | 日陰のある集いの空間

来訪者の快適さと、日陰・ベンチを重視した構想。



アリゾナ記念館 売店エリアの日陰パビリオン
建物からアリゾナ記念館方向を望む
2026年10月15日

B案 | 折り鶴を中心とした思索の空間

折り鶴を中心とする構想。日陰やベンチは、設計の具体化に合わせて追加できます。



木製格子



LEDディスプレイ
折り鶴の折り方を紹介



天窓の下につるす折り鶴



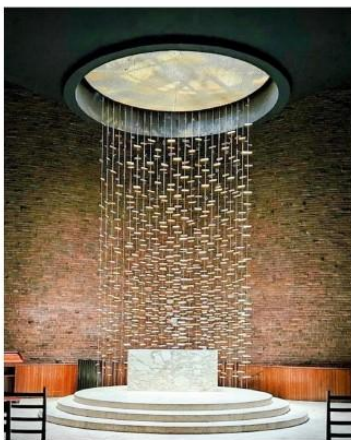
アリゾナ記念館 売店エリアの日陰パビリオン
建物から陸側を望む
2026年10月15日

建築の可能性を広げる、第3のイメージ

検討用に追加した完成予想図



天窓の下につるす折り鶴



木製格子



案内表示

LEDディスプレイ



アリゾナ記念館 売店エリアの日陰パビリオン
建物から陸側を望む
2026年10月22日



アリゾナ記念館 売店エリアの日陰パビリオン
アリゾナ記念館から建物方向を望む
2026年10月22日

折り鶴づくり・
奉納スペース

案内表示：
ピース・パビリオン



思いやりも、平和をかたちにする一歩

快適さ、利用のしやすさ、そして思いを巡らせる時間。

ひと息つける場所

日陰 ・ ベンチ ・ 思索

どちらの設計案でも、
来訪者の快適さを大切にします。

日陰

強い日差しや暑さを和らげます。

ベンチ

年齢や身体状況にかかわらず、
誰もがひと息つける場所。

人に寄り添う来訪体験

未来に残る、スポンサーの支援

日本の支援者の皆様に、ピース・パビリオンの実現を支えていただく機会です。

事業の推進体制

パシフィック・
ヒストリック・パークスが、
パールハーバーおよび
設計・施工担当者と連携し、
プロジェクトを主導します。

スポンサーの顕彰

施設側と関係団体の承認を
前提に、品格ある
記念プレートや案内表示で、
創設スポンサーのご支援を
紹介できます。

協賛のお願い

プロジェクト全体への
協賛のご提案

事業費の概算：
30万～35万米ドル

協賛者表記のデザイン、事業範囲、協賛金額、最終承認は今後の確認事項です。

ピース・パビリオン

パールハーバーに、未来へ続く希望の象徴



PACIFIC
HISTORIC PARKS